

正誤情報

このたびは森北出版株式会社発行の書籍をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。下記の書籍につきまして誤りのある箇所がございましたので、お詫びし訂正させていただきます。

2021年4月26日 森北出版株式会社 生産マネジメント部

タイトル

例題と演習で学ぶ 続・電気回路(第2版)

正誤対象

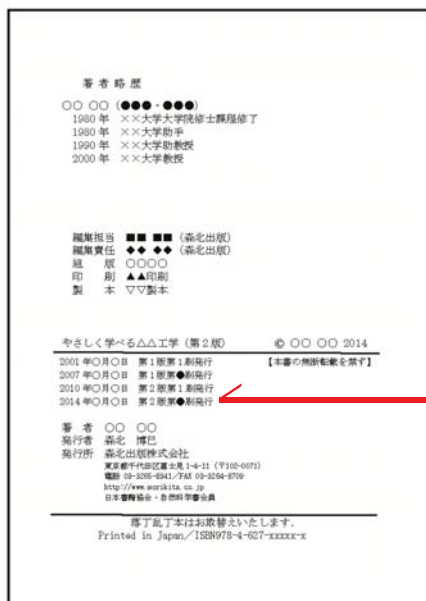
お手持ちの書籍の刷数をお調べのうえ、下の表をご覧ください。正誤表内の一番左に「対応刷数」という列がございます。該当する刷数の訂正情報をご参照下さい。

なお、刷数につきましては下記「刷数の調べ方」をご参照ください。

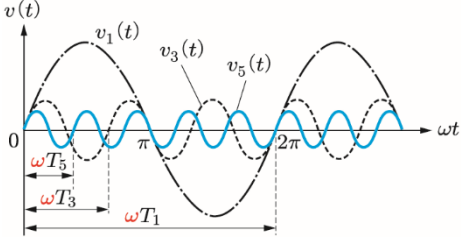
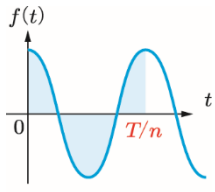
お持ちの本の刷数				
1	対応刷数	1	より	4 までをご参照ください
2	対応刷数	2	より	4 までをご参照ください
3	対応刷数	3	より	4 までをご参照ください
4	対応刷数	4	を	ご参照ください
それ以降	現在把握している訂正情報はございません			

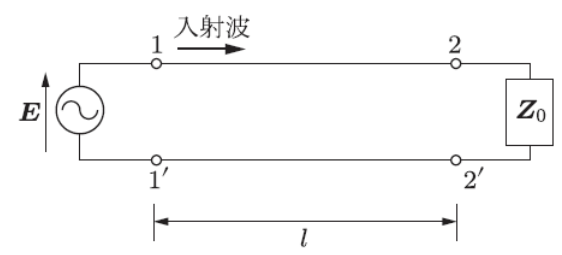
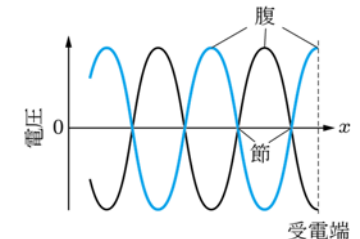
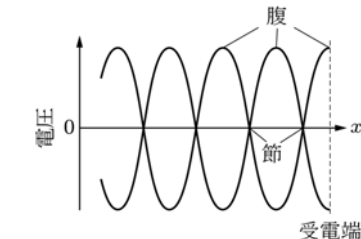
刷数の調べ方

本の一番後ろのページ(広告等除く)に下図のようなページがございます。ご参照いただき、お持ちの本の刷数をお調べください。



日付の最も新しい行に記載された数字がお持ちの本の刷数となります

対応 刷数	頁	行数, 図・ 表・式番号	誤	正
2	48	4.2 節 最後の文	図 3.2 の 2 端子対回路の接続法を, 「並列」 接続とよぶ理由が理解できるだろう.	図 4.2 の 2 端子対回路の接続法を, 「並列」 接続とよぶ理由が理解できるだろう.
4	56	図 5.3	右のように修正 (ω の挿入-3 か所)	
4	59	図 5.6(b)	右のように修正 (T/n の位置を移動)	 (b) 余弦関数
4	64	4~5 行目	$b_n = -\frac{I_m}{T} \left[\frac{\sin(n+1)\omega t}{(n+1)\omega} + \frac{\sin(n-1)\omega t}{(n-1)\omega} \right]_0^{T/2}$ $= -\frac{I_m}{\omega T} \left[\left\{ \frac{\sin(n+1)\pi}{n+1} + \frac{\sin(n-1)\pi}{n-1} \right\} - \left(\frac{\sin 0}{n+1} + \frac{\sin 0}{n-1} \right) \right] = 0$	$b_n = -\frac{I_m}{T} \left[\frac{\sin(n+1)\omega t}{(n+1)\omega} - \frac{\sin(n-1)\omega t}{(n-1)\omega} \right]_0^{T/2}$ $= -\frac{I_m}{\omega T} \left[\left\{ \frac{\sin(n+1)\pi}{n+1} - \frac{\sin(n-1)\pi}{n-1} \right\} - \left(\frac{\sin 0}{n+1} - \frac{\sin 0}{n-1} \right) \right] = 0$
4	68	5 行目	$-\frac{1}{6} \sin 6\omega t + \frac{1}{7} \sin 7\omega t + \dots$	$-\frac{1}{6} \sin 6\omega t + \frac{1}{7} \sin 7\omega t - \dots$
3	81	9 行目	…この一般解は…	…この補助解は…
3	86	式 (7.29)	$L \frac{di(t)}{dt} + Ri = 0$	$L \frac{di(t)}{dt} + Ri(t) = 0$
1	115	式(9.8) 1 行目	$= \text{Im} [\cos(\omega t + \phi) + \dots$	$= \text{Im} [V_m \cos(\omega t + \phi) + \dots$

4	136	最下行	未知変数	未知関数
4	137	1行目	未知変数	未知関数
4	142	下から9行目	未知変数	未知関数
1	164	演習問題 12.4	単位長さあたりの抵抗が $R=0.01[\Omega/m]$, インダクタンスが $L=0.05[mH/m]$, 漏れコンダクタンスが $G=0.04[S/m]$, そしてキャパシタンスが $C=2[\mu F/m]$ の伝送線路が, 無ひずみ条件を満たしている. ...	単位長さあたりの抵抗が $R=0.1[\Omega/m]$, インダクタンスが $L=5[\mu H/m]$, 漏れコンダクタンスが $G=40[\mu S/m]$, そしてキャパシタンスが $C=2 \times 10^{-3}[\mu F/m]$ の伝送線路が, 無ひずみ条件を満たしている. ... ($CR=LG$ の無ひずみ条件が満たされていないため修正)
1	178	式(14.6)	$\dots = -\frac{V(l) - Z_0 I(l)}{V(l) + Z_0 I(l)} = \dots$	$\dots = -\frac{V(l) - Z_0 I(l)}{V(l) + Z_0 I(l)} = \dots \quad (I \text{ は太字})$
1	178	図 14.2	右図のように 2 の点の「反射波←」を取る	
1	181	図 14.9		 (青線と黒線は本来区別すべきものではないため, 同一の線で統一した)

1	181	図 14.10		<p>(青線と黒線は本来区別すべきものではないため、同一の線で統一した)</p>
3	196	解答 5.4 5 行目	$\dots = \frac{I_m}{\pi} \int_0^\pi \{\sin(n+1)\theta - \sin(n-1)\theta\} dt$	$\dots = \frac{I_m}{\pi} \int_0^\pi \{\sin(n+1)\theta - \sin(n-1)\theta\} d\theta$
3	199	下から 7 行目	$\dots = 2 \times 10^{-3} \times 0.639 = \dots$	$\dots = 2 \times 10^{-3} \times 0.693 = \dots$
1	202	解答 8.2 (2) 1 行目	<p>…，式 (1) に代入する。</p>	<p>…，(1) で求めた式に代入する。</p>
1	215	解答 12.4	<p>式 (12.49) より，$\alpha = \sqrt{RG} = \sqrt{0.01 \times 0.04} = 2 \times 10^{-2}$，$\beta = \omega \sqrt{LC} = 1000 \sqrt{5 \times 10^{-5} \times 2 \times 10^{-6}} = 1 \times 10^{-2}$ となる。よって，伝播定数 $\gamma = \alpha + j\beta = 2 \times 10^{-2} + j1 \times 10^{-2}$ となる。また，波の位相速度 $c = \omega / \beta = 1000 / (1 \times 10^{-2}) = 1 \times 10^5$ [m/s] となる。</p>	<p>式 (12.49) より，$\alpha = \sqrt{RG} = \sqrt{0.1 \times 40 \times 10^{-6}} = 2 \times 10^{-3}$，$\beta = \omega \sqrt{LC} = 1000 \sqrt{5 \times 10^{-6} \times 2 \times 10^{-3} \times 10^{-6}} = 1 \times 10^{-4}$ となる。よって，伝播定数 $\gamma = \alpha + j\beta = 2 \times 10^{-3} + j1 \times 10^{-4}$ となる。また，波の位相速度 $c = \omega / \beta = 1000 / (1 \times 10^{-4}) = 1 \times 10^7$ [m/s] となる。</p> <p>(CR = LG の無ひずみ条件が満たされていないための修正)</p>